

恵まれない子どもたちを アートで応援 ART PARTY (アート・パーティー)

世界にはさまざまな事情から愛情が受けられない子どもたちがたくさんいます。ART PARTYはこうした子どもたちの絵の展示会を、年に一度広島で開催しています。アジア・アフリカ・中東など、世界各地の児童養護施設や保護施設から送られてきた子どもたちの作品は美術展で販売されます。その売り上げは全額、それぞれの施設に贈られ、恵まれない子どもたちの夢を支えます。



チャリティのための世界の子ども美術展

援するために使われているそうです。同時に、広島に住む人々が子どもたちの絵を見ることを通して、世界の子どもたちを取り巻く状況を考えるきっかけ作りとし、教育的なイベントの場にしたいという目的があります。さらに、思いやりの気持ちを広げることにより、ひとつでも多くの国や地域が平和になつてほしいという願いを込めて開催しているそうです。

昨年の参加者からは、「子どもの純粋さが絵に現れていてとても素敵でした」「子どもの描く絵にまで戦争が出てきてショックでした」など、さまざまな感想が寄せられました。

展示される作品は、その絵を描いた子どもの名前・年齢・写真が添えられ、子どもたちの絵がより身近に感じられるように工夫されています。また、美術展は多くの市民ボランティアによって支えられています。特に、若い世代のボランティアの参加が多いと聞いて、大変頼もしく思いました。

今、ART PARTYに向けて、世界中の施設から続々と子どもたちの作品が届けられ、ボランティアの手で作品を整理し準備しているとのこと。12月の美術展開催が楽しみです。



皆さんもぜひチャリティにご協力!



取材者の目
(昨年の美術展を見て)
地域性が感じられる作品、楽しいような作品、戦闘や処刑を描いた作品、子どもたちの絵を通じていろいろなことを考えさせられました。

インフォメーション

第3回ART PARTY美術展

◆日時=12月2日(金)~6日(火)
午前11時~午後7時
◆場所=アステールプラザ
◆問合せ
E-mail=starship@hiroshimastarship.org
HP=www.hiroshimastarship.org

みんなで咲かせよう! コスモス花のプロムナード 二葉山の里づくり隊・ シイどんくらぶ

広島駅新幹線口から東区二葉の里にある広島東照宮へ向かう沿道には、今、色とりどりのコスモスが道行く人々を迎えてくれます。これは、広島島の玄関口でありながら、施設などが立ち退いてきた荒涼とした空き地の一部に花の散歩道(プロムナード)をつくり、景観の改善を図ろうと行われているものです。この活動と呼ばれているのは、「二葉山の里づくり隊・シイどんくらぶ」の皆さんです。地元住民を中心に、自然体験学習や環境ボランティア活動などに取り組む人たちが集まっています。

付近には、都心にありながら日本一のシリブカガシの群生林を擁す二葉山や、歴代の城主が建てた神社やお寺などが立ち並ぶ歴史の散歩道などがある魅力的な地域です。この花のプロムナードは、広大な空き地の出現がもたらしたごみのポイ捨てや治安悪化などの問題を解決するだけでなく、二葉の里を訪れる人たちの目を楽



しませ、二葉山や歴史の散歩道などに導く役割を果たしています。そして、注目すべきは、このプロムナードづくりが市民の力で進められている点です。花植えのための遊休地(高速道路用地)借り受けの手に配に始まり、春ごろから丸2ヶ月かけて約140mにおよぶ地道な土づくり作業が行われました。梅雨から初夏にかけては、延べ1000人近くの市民が種まきイベントに参加し、自分たちの名前やこのまちへの想いを記した木製プレートが添えられました。また、イベントに参加できなかった人たちのために家庭で育てたプランターを持ち寄る「花の里親」を募集するなど、参加の輪を広げる工夫もされています。

夏場の生育の手入れや水撒きにも多くの市民がかかわり、その作業の様子は近隣の工事現場や通り掛かりの人たちからも温かく見守られてきました。

11月には、地域の魅力をアピール



インフォメーション

二葉の里・コスモス花のプロムナード 花摘みイベント

◆日時=11月27日(日) 午前10時~午後3時(予定)
◆場所=広島駅新幹線口二葉の里3丁目
高速道路用地
◆内容=みんなで咲かせたコスモスを楽しみながらのイベントです。
◆問合せ=090-3378-3688(森川さん)
E-mail hamada.k@fancy.ocn.ne.jp



種まきイベントの会場には参加者をもてなすカフェも出現!



種まきには子どもも大活躍! 早く大きくなあれ!

Hm 助成団体

イベント情報

広島市観光アシスタント協会

①まちづくり交流ウォーク写真展
期間=9月1日(木)~12月16日(金)
②観光ガイドブスの設置
期間=9月3日(土)~12月11日(日)
の間の土・日曜日・祝日
場所=①②ともに旧日本銀行広島支店

③まちづくり交流ウォーク
交流プラザ/日赤病院コース
日時=9月17日(土)
日赤病院/御幸橋コース
日時=10月15日(土)
猫田記念館/宇品神社神田コース
日時=11月19日(土)
(各午後1時30分~4時現地解散)
参加費=無料 定員=各先着30人
申込=氏名・連絡先を0545538388
問合せ=070-5524-0124(片岡さん)

可部夢街道まちづくりの会

「旧道・旧家めぐりとお宝拝見」
日時=10月16日(日)
※午前10時~午後2時
詳しくはHPを参照ください。
http://www7.enjoy.ne.jp/~obara0420/kabeyumegaidounai dukuri/index.html

ヒロシマ平和映画祭実行委員会

ヒロシマ平和映画祭2005
期間=11月5日(土)~13日(日)
場所=アステールプラザ・サロシネマほか
問合せ=0871-3086(青原さん)
http://www33.ocn.ne.jp/~dotoku/heiwaz2.htm

お知らせ・募集

●企画展「川に向けて暮らしていた」戦後の水辺と暮らし展「開催に向け、戦前の広島の水辺の写真を」を探

しています。戦前の昭和や大正の川や水辺の風景、川に向いた人々の生活がうかがえる写真や資料の提供をお待ちしています。

●工作展「丸太ポップラ」思い出づくり「開催に向け、丸太ポップラ(基町ポップラの問伐材)を使った木工品を募集中。材料:丸太ポップラはお分けします。

※開催はいずれも来年3月中旬を予定しています。

詳しくはお問合せください。
問合せ=070-5021-4355(タカスギさん)
http://www012.upp.so-net.ne.jp/meinei/

■瓦版発行!

ふむふ参加団体の応援情報紙「ふむふ瓦版」第4号(A4版12ページ)を発行しました。ご希望の方は、市民交流プラザで配布中です。また、ホームページでもご覧になれます。

●寄付のお願い

ひとまち広島未来づくりファンドは、市民・企業・行政等が力を合わせて、市民のまちづくり活動を支えていくという基金です。できるだけ多くの皆さまからの寄付をお願いします。どうぞご協力ください。

(振込先)

広島銀行 広島市役所支店
別段預金 No.3000017
口座名義 公益信託広島市まちづくり活動支援基金寄付金受入口
(寄付金紹介)
平成16年度(2004年度)中に、同基金へご寄付をいただいた企業等は次のとおりです。
(敬称略・50音順)

「11件405,086円」
ITグループ有志・南サティ・ホーム・日本リンク(株)・広島ガス(株)・広島市産業情報サービス広島市信用組合・広島島全日空ホテル・広島電鉄(株)・広島バスセンター・文化シヤッター(株)・広島支店・山崎製パン(株)・広島工場
平成17年(2005年)6月末現在の寄付金合計は、649,412,000円です。まちづくり活動への熱いエールをあげてください。

伝的映画でありヒロシマについても語られた『ヌケ先生』を上映、そして「平和を生み出す映像」と題しての講演をしていただきま

した。監督自身が、9・11のニュース映像を見たときに「作り物と思うてしまった」という話をあげ、「戦争は映画人が



翌日は、ピースアンサンブルひろしま（ヴァイオリン・高橋和歌さん、ギター・徳武正和さん）の生演奏があり、11月の本祭で公開予定の『愛と死の記録』の映像と協調しながらの演奏でした。若き日の吉永小百合、渡哲也そして戦後間もない広島ロケーションに奏でられる美しい音楽映像詩となりました。次いで静岡から監督も

ヒントを与えている面もある。責任の一端はわれわれにもある」と、現実の出来事と映画の関係性を論じ「戦争の恐ろしさを踏まえ平和を描けば、表現が深くなる」と映画が目指すべき平和のありようを語られました。その他、『夏雲』や『土徳』などのドキュメンタリーが上映され、会は盛況の中終了しました。

●「Information」コーナーの申込・
問合せは…
まちづくり市民交流プラザ
〒730-0036 広島市中区袋町6-36
▼☎ 545・3911 ☎ 545・3838
▼E-mail m-plaza@hitomachi.city.hiroshima.jp ▼URL
<http://www.hitomachi.city.hiroshima.jp/m-plaza/>
※内容が一部変更となる場合がございますので、詳しくは同プラザまでお問い合わせください

ました。

青少年野外活動センターでは、8月3日～5日に、うしずサイエンスクラブと題して、南原発電所の見学、水生生物の観察などさまざまな体験活動を通して、水とエネルギーについて学びました。三滝少年自然の家では、8月23日～25日に、“ふしぎ発見 感動体験”と題して、水の力を利用して動く自動車作りや温井ダム水力発電所の見学などを通して、水とエネルギーについて学びました。

戦後60年の間に製作された「ヒロシマ・反核」に関する膨大な映画を一堂に集め、集中的に上映する一大イベント『ヒロシマ平和映画祭』。このイベントが、7月30日・31日にまちづくり市民交流プラザで開催されました。

10月8日～10日には、似島臨海少年自然の家で「風：限らないエネルギー」と題して、風とエネルギーについて学ぶ研修プログラムを実施予定です（参加募集は終了）。

▼日時〓毎月第4土曜日 午後2時～4時
▼場所〓まちづくり市民交流プラザ
1階ロビー
▼参加費〓無料

『デザイン・ゲーム』の創始者に学ぶ参加のまちづくり

5月29日(日)、まちづくり市民交流プラザにおいて、住民と共に考えるまちづくりの先駆者であるアメリカの建築家ヘンリー・サノフ氏を招き、『デザイン・ゲーム』の創始者に学ぶ参加のまちづくり」をテーマに講演会を開催しました。

この講演会では、日本におけるまちづくりの現状に照らしながら、今後の広島島の「参加のデザイン」について考える場にしよう、と、広島島のまちづくりの事例報告をした後、サノフ氏の講演がありました。

広島事例報告では、①氏原睦子氏（地域環境創造活用プロデューサー）から「水の都 ひろしま」構想をつくるにあたり、市民参加で計画を行なったプロセスについて ②下田卓夫氏（まちづくり建築家）から呉市波多見地区のコミュニティ施設の建設にあたり地域住民参加により行った事例について ③山本瑩子氏（まちづくり市民交流プラザ館長）から公的サポートとして、まちづくり市民交流プラザの事業について それぞれ発表しました。

続いてヘンリー・サノフ氏の講演では、「なぜ、参加が必要なのか」についての話で、その内容は「参加の目的は民主主義であり、全ての段階において参加しなければ民主主義ではない。参加のプロセスで重要なことは、①誰が参加

に關わるか影響を及ぼす人、影響を受ける人)、②どの部分において關わるか(情報を与える、情報を得る)、③参加することによりどこに影響を与えるか(実行、目的達成、評価)である」ということでした。

また、同氏が關わつてきた七尾、宇都宮、ミネソタ、ケンタッキー、ニューメキシコでの事例について、その住民参加を始める時点から成果がでるまでのプロセスが紹介されました。

住民参加で建物を作る時、それに關わるすべての人がエキスパートで、そのエキスパートが描く(デザインすること)ことが大切であること。そして『デザイン・ゲーム』の『ゲーム』は楽しいこと、すべての人にとって楽しくなければ意味がないという、ヘンリー・サノフ氏のメッセージが印象的でした。

に関わるか(影響を及ぼす人、影響を受ける人)、②どの部分において関わるか(情報を与える、情報を得る)、③

中区公民館・まちづくり市民交流プラザ
ネットワーク事業
「ストリート・ピースコンサート」
中区内の公民館で活動しているコーラ
スグループが中心となり、歌を通じて平
和を感じ、平和を考えるきっかけづくり
のストリートコンサートです。

あたたかな歌声や詩の朗読に耳を傾け、平和であることの大切さを考えてみませんか。

今年はストリートミュージシャンによる演奏もあります。

▼日時 12月3日(土) 正午
3時30分

▼場所 袋町小学校正門前

▼問合せ 吉島公民館
(☎246・4121)

こんにちは、プラザ通信です。
まちづくり市民交流プラザのいろいろな
話題や情報をお届けに上がりました。

アメリカの建築家
ヘンリー・サノフ氏

原 民喜
 生誕100周年記念文学資料展
 ▼日時▶11月5日(土)～14日(月)
 ▼場所▶まちづくり市民交流プラザ北棟
 4階ギャラリー
 ▼入場料▶無料

いろんな情報の木が「ヨキヨキ生えた、らしく情報の森へようこそ」。「ひろしま情報a-net」から、さまざまな情報を紹介します。気になる木きつとあるはず。

らしく情報の森へようこそ

※この情報は8月20日現在のデータです。定員や対象が限定されているイベントや、すでに始まっている講座もごさいますので、各お問い合わせ先に確認してください。



<http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/>



八区覧会・八区物館 西国街道をめぐるイベント

中区西国街道めぐり
己斐公民館から猿猴橋（JR広島駅付近）までの西国街道を、ボランティアガイドの案内により散策します。また、道中の金座街において、昔懐かしい写真展が開催されます。▼日時▶10月1日（土）午前9時～午後3時▼集合場所▶己斐公民館▼定員▶先着100人▼参加費▶無料▼持参物▶昼食・飲み物▼申込▶中央公民館 ☎221・5

安芸区まちあるき瀬野地区コース 「旧山陽道」「大山峠」を歩く

JR八本松駅～大山峠～貫田（上瀬野）をボランティアガイドによる史跡旧跡の案内を受けながら歩きます。▼日時▶10月9日（日）午前9時15分～午後2時30分▼集合場所▶JR八本松駅前▼定員▶80人▼参加費▶無料▼対象▶小学5年生以上（小学生は保護者同伴）▼持参物▶飲み物・雨具・タオル・軽食・動きやすい服装と靴▼申込▶瀬野公民館 ☎894・8006 定員になりしだい締め切ります

安芸区まちあるき船越地区コース

「船越ふれあいウォークラリー大会」

船越地区の史跡や見所をめぐるウォークラリー大会です。家族や友達同士など、2人以上のチームで参加してください。▼日時▶10月23日（日）午前8時30分～午後1時▼集合場所▶船越小学校▼定員▶30人▼対象▶船越学区以外に在住の人で、家族や友達同士など2人以上のチームで参加（船越学区在住の人は、別途各町内会へ申込）▼持参物▶筆記用具・飲み物・雨具・タオル・動きやすい服装▼参加費▶1人100円（軽食代ほか）▼申込▶10月13日（木）までに船越公民館 ☎823・4261 定員になりしだい締め切ります

西国街道ぶらり旅

①草津～古江（Aコース）②己斐～古江（Bコース）の2回開催します。▼日時▶①11月19日（土）②11月20日（日）ともに午前9時～午後3時▼集合場所▶①草津公民館②己斐公民館▼定員▶ともに抽選70人▼参加費▶300円※予定ガイドマップ配布有▼持参物▶昼食▼申込▶往復ハガキ（住所・氏名・年齢・電話番号・希望コースを記入）で草津公民館 ☎271・2576 〒733・0861 西区草津東2・207へ（1枚につき2人まで申込可。3人以上は無効）。10/1～10/31まで受付

東区西国街道めぐり

ボランティアガイドの解説を聞

ぶらり西国街道めぐり
「西国街道ぶらり散策まつぶ」を活用して、秋の井口から廿日市へ浪漫散策会を開催します。▼日時▶11月5日（土）午前9時～午後3時▼集合場所▶西部理立第二公園▼定員▶先着30人▼参加費▶大人2000円、子ども1000円▼持参物▶弁当、飲み物▼申込▶五日市公民館 ☎922・83333

きながら、東区内の西国街道を歩きます。昼食会場では、西国街道に関する講演会の開催のほか、二葉の里歴史の散歩道フット100選の写真展示や同散歩を紹介するビデオ放映なども行います。▼日時▶12月10日（土）午前9時30分～午後3時▼集合場所▶JR天神川駅前▼定員▶抽選100人▼参加費▶無料▼持参物▶昼食・飲み物・雨具・タオル・動きやすい服装▼申込▶往復ハガキ（住所・氏名・年齢・電話番号）で二葉公民館 ☎262・4430 〒732・8510 東区東蟹野町9・34へ。11/1～11/30まで受付

●その他、西国街道関連以外にも多数の歴史のまち歩きイベントがあります。

▼問合せ▶市役所都心活性化推進課 ☎504・2010

ハイムーン

まんが展／講演会

全国で話題のハイムーン（高月絃京都大学名誉教授・環境まんが家）のマンガが、ついに広島にやってきます。ほのぼのとしたタッチで分かりやすく、ちくりと環境問題の本質を示したハ

イムーンの作品をご覧ください。

▼日時▶11月16日（水）～20日（日）午前9時30分～午後10時（初日は午後1時から、最終日は午後3時まで）▼会場▶まちづくり市民交流プラザ▼内容▶ハイムーンまんがの展示（期間を通じて1F展示コーナー）、ハイムーン特別講演会・ハイムーン氏参加のワークショップ（ともに19日（土）など）参加費▶無料▼問合せ▶ハイムーン環境まんが展inひろしま実行委員会 ☎247・8530（岩地さん）▼電子メール▶yasushi_oh_nishi@n7.dion.ne.jp（大西さん）※できるだけ電子メールかファクスにて問合せ



ラーニングネットひろしま 学習相談会

ラーニングネットひろしまは、生涯学習を切り口とした個人の自立や自己表現、社会参加、地域づくりなどに関心のある人たちのネットワークづくりを



よみがえれ瀬戸内海 海辺の自然環境について学ぶ セミナー

行っています。情報提供、相談、プログラムの開発、調査、研究、新しい試みの提案なども行う生涯学習の市民活動団体です。毎週月曜日に学習相談会を開いています。▼日時▶平成18年3月27日までの毎週月曜日午後1時～7時▼申込▶ホームページ（<http://www.learningnet-hiroshima.org/>）を参照（なるべく予約）▼問合せ▶ラーニングネットひろしま・東さん ☎090・6437・2570 ☎877・0655



広島県立生涯学習センター

「ロビー展」の展示団体募集
広島県立生涯学習センターでは、県内の社会教育関係機関及び社会教育関係団体との共催により「生涯学習文庫」資料の展示、「学習作品の展示」、「生涯学習活動状況の展示」等を行い、生涯学習の振興・推進を図っています。同センター階で



情緒障害児短期治療施設

「愛育園」ボランティア募集
広島市こども療育センターにある情緒障害児短期治療施設「愛

育園」では、「学校に行きたいのに行けない」「友だちとの関係がうまく築けない」などの悩みを抱える子どもたちや保護者への援助をしています。子どもたちや保護者の思いを理解し、ともに楽しい時間を過ごしていただくボランティアを募集しています。活動内容は以下のとおりです。

- ①愛育園での日々のプログラム▼日時▶毎週月曜日～金曜日の午後1時30分～3時▼内容▶スポーツ・楽器演奏・手芸・園画工作など曜日ごとに活動します
- ②愛育園での季節行事▼内容▶キャンプ・祭り・スポーツ大会・もちつき・お茶会など
- ③交流グループワーク（クラブ）▼日時▶毎週木曜日の午後3時～5時▼内容▶小学生が中心。その日集まった子どもたちとスポーツやゲームをしたり絵本を読んだりします▼いずれも申込・問合せ▶「愛育園」地域サビースボランティア担当 ☎263・0683（六郎さん）

第23回まちづくり標語懸賞募集

「賑わいまちづくり」をテーマと

した、まちづくりに関する標語を募集します。▼募集期間Ⅱ12月31日(土)まで(消印有効)▼部門Ⅱ一般の部と児童・生徒の部(中学生以下)の2部門▼申込方法Ⅱ①応募作品は未発表のもので、ハガキによる応募に限る。一人何点でも応募できるが、ハガキ1枚につき作品は1点限り②住所・電話番号・氏名・年齢・性別・職業(または学校名・学年)・応募部門を必ず明記▼応募 問合せⅡまちづくり月間実行委員会標語募集係 ☎03・3262・3491 〒10200

094 東京都千代田区紀尾井町332(財)都市計画協会内

第2回「ひろしま千客万来賞」

広島を訪れる人を増やすための市民活動を募集、活動を記録して、広島市ホームページでPRします。活動実施後、特に優れた20件程度の活動を「ひろしま千客万来賞」として表彰し、副賞5万円を贈呈します▼応募期間Ⅱ12月28日(水)必着▼登録対象の活動Ⅱ「広島市内に在住の人」「広島市内に在住する人が過半数を占める団体・グループ」「広島市内に事務所を有する企業」が、自主的に

助成

地球温暖化の防止と省エネに効果

屋上緑化などを支援します

緑化施設整備計画認定制度【制度の概要】

都市の緑化を推進するために、建築物の屋上、空地その他の敷地内の緑化施設の整備に関する計画(緑化施設整備計画)を、

市町村長が認定し、固定資産税の軽減措置などにより支援する制度です。(根拠法:都市緑地法)

△対象地区:都心(第4次広島市基本計画)及び都心と体をなす商業地域(己斐・天満、横川及び段原地区)・高度利用を図る近隣商業地域(容積率400%)です。

△敷地面積:敷地面積は、1,000平方メートル以上です。

△緑地面積:緑地面積の敷地面積に対する割合は、20%以上です。既存の建築物に緑化施設を整備する場合や、既存の緑化施設を再整備する場合なども含みます。

△固定資産税の軽減措置の概要:認定された緑化施設整備計画に基づいて整備された緑化施設について、固定資産税の特例措置(整備後5年間は課税標準1/2)の適用があります。

▼問合せⅡ広島市役所都市計画局緑化推進部緑の施策係 ☎504・2396 ☎504・2330

「コミュニティ助成」(宝くじ助成Ⅱ(財)自治総合センター

実施)を活用してみませんか

「コミュニティ助成事業」は、宝くじ受託事業収入を財源として、(財)自治総合センターが実施するコミュニティ活動に対する助成制度です。助成対象となるコミュニティ組織は、市(区)町村における自治会・町内会などの地域的な共同活動を行っている団体またはその連合体に限られ、宗教団体・営利団体・NPO法人などの活動が地域に密着しているとは言いがたい団体は含まれません。

▼コミュニティ助成事業の種類

【一般コミュニティ助成事業】国の補助金を受けないもので、コミュニティ組織または市町村が行うコミュニティ活動に必要な施設または設備の整備に対して、1件100万円から250万円の範囲内で助成

【緑化推進コミュニティ助成事業】

国の補助金を受けないもので、コミュニティ組織または市町村が行う緑化推進のためのコミュニティ活動に必要な施設または設備の整備に対して、1件50万円から200万円の範囲内で助成

【自主防災組織育成助成事業】

国の補助金を受けないもので、一定地域の住民が当該地域を災害から守るために自主的に結成した自主防災組織及び婦人防火クラブが行う地域の防災活動に必要な施設または設備の整備に対して、1件30万円から200万円の範囲内で助成(設立年月や助成実績の有無により、助成限度額が異なる。)

【青少年健全育成助成事業】国の補助金を受けないもので、コミュニティ組織または市町村(一部事業は都道府県も含む)が行う青少年健全育成のための、主として小・中学生が参加するソフト事業に対して、1件30万円から100万円の範囲内で助成

▼申請Ⅱ10月上旬ごろ、各市町村を通じて翌年度の事業に対する助成を申請する▼問合せⅡ広島市役所市民局市民活動推進課コミュニティ担当 ☎504・2131 ☎504・2066

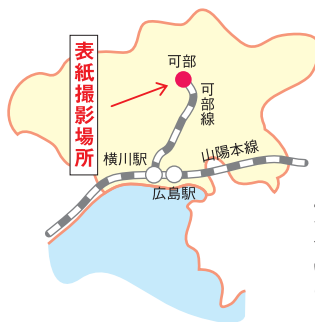


●今号の表紙●



表紙タイトル／「おばあちゃんと一緒に掘ったよ」
モデル／濱井 一恵さん 中山 怜菜ちゃん
撮影／田中 三輝夫

らしくく 広場



濱井邸の庭にある野菜畑で表紙の撮影。モデルは濱井さんと孫の怜菜ちゃん。まだ夏野菜の姿しか見えない菜園に秋のきざしを演出。私たちは近郊の農家が集う朝市に早朝5時に行ってきました。大きな南瓜に秋茄子、人参にジャガイモ…。野菜でいっぱいザルをおばあちゃんがヨッコラショ。怜菜ちゃんも彼女にはちよいと重い南瓜をウントコショ。わきでニコニコと見守るおじいちゃんに「ほらっ!」ふと濱井家の庭に小さな秋が舞い降りて来たような…そんな熱演に汗ばむ午前10時のひと幕でした。

おばあちゃんから孫へ 伝えられる自然の恵み

今年度「らしくく」の表紙テーマは、「つくる」。野菜をつくる、食をつくる…。何かをつくる「行為から、人はつながり大きな輪となっていく。広島市民が「つくる」行為を通して、人から人へメッセージを伝えていく様子をスナップしてきたい。そんな思いから、表紙の制作はスタートしました。

安佐北区可部地区の「画」に居を構える濱井さん宅。引越した当初から畑づくりを始め、現在ではかなりの収穫をあげるようになりました。広島市内の幼稚園に通う孫の怜菜ちゃんは、しばしば濱井さんの畑を訪れてお手伝いしているそう。作物を育てる難しさや生命の尊さなど日々触れることの少ない「自然」からの知恵を、祖母の一恵さんに優しく教えてもらっています。

祖母から孫へ、脈々と引き継がれる自然の恵み。これもまた、時代を越えて人と人をつなぐ「メッセージ」のひとつではないでしょうか。

今回から私たち市民ライターが 誌面づくりに参加しています

「まちづくり学校」については、受講生による有志の会「雑学の会」、「H.M.通信」については、ふむふむサポートボランティア「HOTほっとひと」のメンバーが編集しています。

読者の皆さまの率直なご意見・ご感想をお待ちしています。

●「年を重ねただけで人は老いない」、サムエル・ウルマンの詩「青春」です。いくつになっても夢を持ってチャレンジし続けている方々のお話は、こちらまで前向きな気持ちに変わるほど生き生きと輝いていました。(ビビっとしづくに／柿田 裕子)

●取材した内容を文章で表現することの難しさを、改めて感じました。広島物・人・出来事について、もっと知りたい、伝えたい気持ちです。(Pレポート／木下 千代美)

●平成17年度(2005年度)らしくくの、「ひろしまぐると八区」としてぐとく街道散歩」を担当することになりました。初めての取材でかなり緊張しましたが、2コーナーとも無事に終了しました。今後も頑張っていこうと思っています。(ぐると八区ぐとくく街道散歩／国本 浩)

●取材でいろいろな方の話を聞けるのはとても楽しく、勉強になります。これから皆さんのところへもお邪魔することがあるかもしれませんが、そのときはよろしくお願いいたします。(ビビっとしづくに／河野 浩)

●気楽な気持ちで応募した市民ライターだったが、事実を正確に伝える文書を書く難しさを痛感した。自分らしく頑張るしかないと思うや切。(よりみちデボ／白石 蔵)

●取材を通して、自分の趣味を生かして暮らしを豊かにしている方が多いのだと感じました。これからも、誌面を通して広島での暮らしの魅力を多くの人に伝えていきたいです。(暮らしくく・日キャンパス／田村 純子)

●「広島のみちづくりに参加する」と言ったらちよと大げさですが、らしくくの編集に参加して、そんな気持ちになりました。新しい視点で街を見れば、いろいろな発見と出会いが生まれます。これからが楽しみです。(Pスポーツ・らしくくカフェ・達人図鑑／峯 直哉)

●苦しんで原稿を書き上げた後、今まで目にしてきた雑誌・新聞を見ても「どうしてこんなふうに上手に書けるのだろう」と思っ

●「ひろしま」の楽しさが次々に見つかってくる、らしくく。これまで愛読者だった私が、今号より何とスタッフの一員として参加。多くの人に楽しんでもいただける誌面づくりができるといいな、と思っています。(ビビっとしづくに／吉田 知世)

(五十音順)

「らしくく情報の森」に載せてほしい!という、イベントや募集情報などがありましたら、郵送・ファクス・電子メール等で、らしくく編集部までお寄せください。次号は12月初旬発行予定です。

らしくく編集部

〒730-0036
広島市中区袋町6-36
まちづくり市民交流プラザ
☎082・545・3611
☎082・545・3608
E-mail m-plaza@hitomachi.city.hiroshima.jp

らしく情報のより所てくく特派員と巡る
街道てくく散歩。
今日はどんな発見がありますやら…

てくてく特派員と行く 街道散歩



美鈴が丘団地 健康ウォーキングコース



今回のてくてく特派員は、安佐南区にお住まいの稲垣太平さんです。ウォーキングクラブの皆さんの話に真剣に耳を傾け、メモを取られていました。取材後には「眺めのよい、和やかな雰囲気のあるコースでした」と、満足そうな笑顔を見せられました。

6月23日 佐伯区美鈴が丘ウォーキングクラブの皆さんと一緒に、美鈴が丘団地のウォーキングコースを歩きました。曇りで歩きやすい天候のもと、30人が参加し、南区と緑街区のコースを中心に約1時間半の散歩でした。コース中には美しい自然や工夫されたガーデンングが多く見られ、疲れた体をいやすてくれました。

①美鈴が丘トンネル

橋の上から、木々に囲まれたトンネルが眺められます。東側を鬼ヶ城山、南側を鈴ヶ峰山に囲まれている美鈴が丘団地と、市内中心部に続く道路をつないでいます。

②道行地藏

①のトンネルの真上あたりにある悲しい物語を秘めたお地藏様です。もともとは約300年前、高井越の峠の付近につくられたといわれています。草津、田方を経て石内、五日市に通じていた峠は、人馬の往来が頻繁でした。その昔この峠を通りかかった武士が乳飲み子を連れた美しい婦人に言い寄り断られたために惨殺。その後峠付近で女性の亡霊が通行人に「子どもがおなかをすかして泣いているのでお乳を飲ませてやりたい。どうか連



Information



美鈴が丘ウォーキングクラブ
住民の交流と健康管理を目的に5年前に結成されました。第2第4木曜日の午前中に健康ウォーキングを行っているほか、毎年、ウォーキング大会を開催。今年は10月8日(土)に実施するそうです。問い合わせは美鈴が丘公民館(082-927-1727)まで。

美鈴が丘ウォーキングマップ

美鈴が丘ウォーキングマップは、ウォーキングクラブ、美鈴が丘公民館などの協力で作成されました。各コースの所要時間や歩数、消費カロリーなどが記載されており、健康管理にも役立てられています。6月には自然散歩マップも完成しました。



- ③団地の階段
美鈴が丘の小・中・高校に続く、300段を超える長い階段。普段は子どもたちの通学路になっていますが、ウォーキングクラブでも体力に合わせてチャレンジすることがあります。
- ④花いっぱい邸宅
団地内の各住宅には、工夫をこらした美しいガーデンングがいっぱい。見て歩くだけでも楽しくなります。クリスマスにはイルミネーションが夜道を明るく照らすそうです。
- ⑤美鈴神社
平成2年(1990年)に中区の胡子神社からの分霊により「美鈴が丘胡子神社」として創建され、平成14年(2002年)に社殿の再建を行った際、今の名称に改称されました。シンボルモビル内にある珍しい神社です。
- ⑥藤棚
80mほど続く公園内の藤棚。棚の陰は涼しいので、ここでちょっとひと休み。花の咲く季節にもぜひ訪れてみたいものです。
- ⑦陸橋
小・中・高校付近の道路の交差点にある陸橋は、自転車でもそのまま渡れるように、階段ではなくスロープになっています。

応援します!生涯学習、ボランティア・市民活動

広島市まちづくり市民交流プラザ

土・日も
オープン
午後10時まで

●開館時間

午前9時半～午後10時

●休館日

火曜日、祝日法に規定する休日(火曜日の場合は直後の休日でない日)、12月29日～1月3日。ただし、8月6日は開館

●交通アクセス

市内電車:「袋町」電停から徒歩約3分
バス:「袋町」バス停(広島電鉄・広島バス)から徒歩約3分
アストラムライン:「本通駅」から徒歩約6分

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
ただし、車いす利用者等用駐車場は3台分用意しています。
※自転車・バイクの方は、地下の公共駐輪場(有料)をご利用ください。

●ホームページ

<http://www.hitomachi.city.hiroshima.jp/m-plaza/>

●ひろしま情報a-ネット

<http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/>

●E-mail

m-plaza@hitomachi.city.hiroshima.jp



〒730-0036 広島市中区袋町6番36号
TEL 082 (545) 3911 (代表)
TEL 082 (545) 3913 (施設予約受付専用)
FAX 082 (545) 3838